

感想1（大阪市立大学法学部2回生）

私は、今年の夏休み中盤あたりから本格的に弁護士になりたいと思い、そして、今行っている部活動やサークル活動と両立しながら、自分の望む将来を実現するには法科大学院に進学して司法試験を受けるのが最善の道だと考えておりました。そんな折、自室の学習机を見て、ふと私の目に留まったのが、乱立する教科書の隙間から見えた『ロースクールへ行こう!!2018』のビラでした。もらった記憶はなかったのですが、おそらく大学の講義中に教授の誰かが配ってくださったものだと思います。その1枚のビラを見て、「自分に今必要なのはこれだ!」と思い、すぐ行くことに決めました。

イベントの中身としては、まず、ロースクールの説明会からです。これがまたおもしろい。説明会といっても法科大学院の歴史や仕組みを重々しく語るのではなく、一人の女性の弁護士の方が弁護士を志した経緯から法科大学院でどう学び、そして、どんな仕事を今やっているのかを話してくださいました。詳しいことは言えませんが自分の失敗から一念発起し、弁護士をめざしたこと、ロースクールの授業が対話形式であることなど実体験を交えての語りだったのでとてもためになりました。

次に懇談会です。今年、司法試験に受かって司法修習生の方から実務の最前線で働いている人、そして教授に至るまで法律に関わる多種多様な人々がこちらからの質問に答えてくださいました。小グループに分けてのものだったのでとてもお話がしやすかったです。個人的に一番印象に残っているのは裁判官の方とお話できたことです。どのような気持ちで裁判に臨んでいるのか、そこには教科書を読んでもわからないような回答がありました。

私はこのイベントに参加できてよかったと思います。漠然としていた不安がいろいろな方と話すことでとりあえずやってみようという気持ちになり、前向きになれました。本当にありがとうございました。

感想2(神戸大学法学部3年生)

私はゼミの先生に声をかけてもらって今回のロースクール座談会に出席しました。

もともとロースクール進学は考えていたのですが、それに向けて本格的に勉強を開始する中で少し閉塞感のようなものを感じていたため、もう一度モチベーションを高めて頑張るための機会にしようと思ったことも参加した理由の1つでした。

座談会で最もためになったと思うことは、弁護士や検察官、裁判官として実際に働く方々対話という形でお話できたことです。実際に実務で活躍されている方々は人間的にもとても魅力的で、どんな質問にも実際の体験をふまえて丁寧に答えていただき、自分にとってとても有意義な時間でした。そして何よりも、自分もこのような法律家になりたいという気持ちを強く感じることで大きなモチベーションアップにつながりました。また今年司法試験合格されたばかりの先輩方からも、勉強方法やロースクールでの実際の生活について教えていただくことができました。

まだローに行くか決めていない方、法律家になるか決めていない方でも一度足を運んでみる価値はあると感じる座談会でした。